NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

2時限目

令和6年度
東京都保育士等キャリアアップ研修

障害児保育

医師　井上清恵子

Eiyo 栄養セントラル学院

発達障害と自閉症について

発達障害者支援法における発達障害の定義

自閉症、アスペルガー症候群その他の後半生発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものを言う（第2条）

自閉症とは

①他者との社会的関係の形成の困難さ
②言葉の発達の遅れ
③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする発達の障害である。
その特徴は3歳くらいまでに現れることが多いが、成人期に症状が顕在化することもある。中枢神経系に何らかの機能不全があると推定されている。

障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（令和3年6月30日）

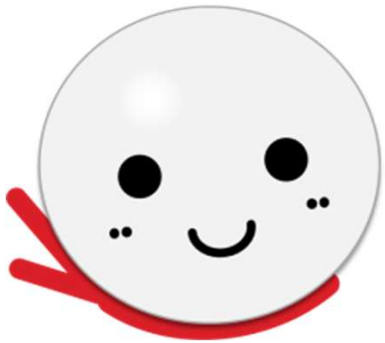
7　自閉症 (mext.go.jp)

自閉症のある子供の教育的ニーズ として
早期からの教育的対応の重要性 が挙げられます。
乳幼児期は、心身の発達にとって重要な時期にあります。
とりわけ幼児期は…
自分を取り巻く人々への関わり方を学び、周囲の事象について知り、理解を深め、社会生活を送るに当たってのルールについても学び、就学後に向けての基礎づくりをする大事な時期です。

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

乳幼児期の一般的な発達上の目標

・食事や排せつ等の自立の習慣づくり
・社会的ルールの平易な理解の学び
・小集団での最低限の自己コントロールの学習
・周りの人との情緒的なつながりを土台とした安定した人間関係の構築
・自分と自分を取り巻く社会についての平易な概念（考え方）の形成
・姿勢・運動能力の向上
・コミュニケーション能力の促進
・認知機能の向上



以上のような
幼児期を中心とした一般的な発達上の目標は、
自閉症をもつ子どもにとっても同じです。

自閉症は、乳幼児健康診査などで、
周りの大人や子どもに対する関心の向き方や、
感覚反応（視覚、触覚、聴覚等）の異常がみられ、そのことから、障害の疑い、指摘を受けることがあります。

乳幼児期に気付くことは、
マイペースな行動や、
言葉の発達の遅滞、
周りからのはたらきかけに
対する反応の脆弱さ等が
挙げられます。

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

その背景として、
自閉症の子どもの多くは
親密で安定的で情緒的な関係を構築することの困難さや、興味や関心が限られる等ことによる集団生活上の難しさ、刺激に対する過敏性や睡眠障害等の行動上の問題等への対応が難しいことも言われてきました。

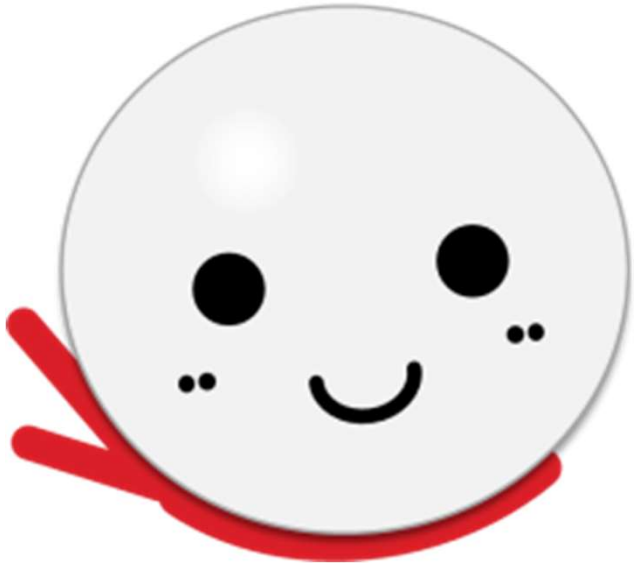
けれども…
早くから環境調整を行いながら、適切に対応を行うことによって、自閉症の子どものコミュニケーション能力の発達の促進や社会性、行動や情緒面の問題の予防が可能となっています。

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

自閉スペクトラム症（ASD）

かつては広汎性発達障害と呼ばれていたものを、
現在は「自閉スペクトラム症」と呼ぶようになりました。
自閉スペクトラム症には、次の５つの障害が含まれます

１．自閉症
２．アスペルガー障害
３．レット障害
４．特定不能の広汎性発達障害
５．小児期崩壊性障害



Eiyo 栄養セントラル学院

自閉スペクトラム症の基準①

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

自閉スペクトラム症の診断基準は、大きく分けて２つあります。

１つめは、

社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害

です。

もう少し詳しく分けると…、次の３つに分類できます。

１）社会的、情緒的な人との交流にかかわる障害

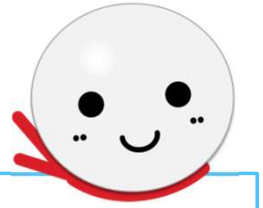
２）非言語コミュニケーションの障害

３）対人関係を発展させ、維持すること、自分の行動をその場に適応させることの障害

１）、２）、３）は、保育ではどのように表れるのか

ここから➤説明をしていきます。

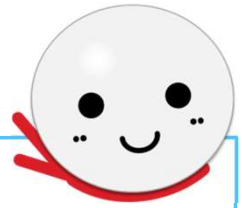
社会的、情緒的な人との交流にかかわる障害



社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続的障害の中の１）社会的、情緒的な人との交流にかかわる障害がある子どもは、　保育の場面では次のような行動が見られます。

●興味関心の“共有”がみられない
　「見て見て！」といってこない。作品を見せに来ない等。
●“暗黙のルール”が理解できない。
“ついたて”があっても超えてしまう。入ってはいけない場所に入る等。
●他者との距離感が疎である（そ：親しくできない）または密である。
他の子どもに興味を示さない。逆に、知らない人にも平気で話しかける等。

非言語コミュニケーションの障害と関係性の発展・維持の障害



非言語コミュニケーションの障害がみられる子どもは、
保育の場面では次のような行動が見られます。

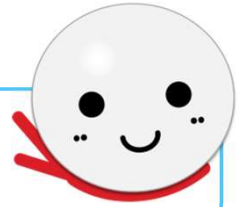
●アイコンタクト、表情、ジェスチャーが過小であったり、
逆に過剰の傾向にあります。
「目が合わない」ことはASDの特徴として知られていますが、
目が合いすぎる、じっと見つめすぎる場合も通常の対人関係では
あまり無いことですから、気になります。

●想像力を使ったあそびでは、他の子どもとイメージがうまく共有できず、
共同してあそぶことが難しいです。

●他の子どもが「あそぼう」と声をかけても、関心を示さず目を合わせないこともあります。

自閉スペクトラム症の基準②

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会



自閉スペクトラム症の診断基準の2つめは、
局限した興味と反復行動です。

次の4項目のうち、2つ以上が当てはまることが基準となります。

1）常に同じまたは繰り返す話し言葉、動作、運動、物の使用
　おうむ返し、手をヒラヒラさせる動作などがこれに当たります。

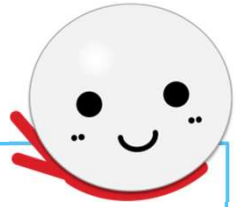
2）同じモノへの固執（こしつ）。日課へのこだわり等。
普段通っている道が工事で通れなかったり、行事で日課が変わるとパニックになることもあります。

3）強さ・焦点が極めて原曲された固定した興味があります。
　例えば、地図を全部覚えている、カレンダーの数字への興味等があります。

4）感覚過敏・感覚鈍麻

➢次のスライドで詳しく説明します。

自閉症（ASD)による感覚過敏の例



●体育館やホールでは、先生の話と同じぐらい周囲の声が大きく聞こえてしまい、パニックになり飛び出してしまう。
●同じものしか食べない（味覚過敏）
●同じ服しか着ない　＝服の縫い目が大根おろしのように痛い
●柔軟剤のにおいが我慢できずパニック＝柔軟剤のにおいのついた服を着た人が近くを通ると、突然 後頭部を殴られたように頭が痛くなる
●よくぶつかり、身体に無数のアザができてしまう（感覚鈍麻）

『光とともに…～自閉症児を抱えて』（戸部けいこ著）の主人公「光（ひかる）くん」のお話をご存じですか？

『光とともに…～自閉症児を抱えて』は、2000年から「フォアミセス」で連載開始された漫画で、自閉症児とその家族の物語です。
漫画の中では、保育園生活で保育士（マンガの中では「保母」）や園長先生が、光（ひかる）くんの様子を観察し、様々な工夫をして保育をする様子も描かれています。
まだ自閉症や発達障害への理解はあまり進んでいない時代でしたが、すでに保育現場では一人一人に応じた保育を意識していました。

※2004年テレビドラマ化（主演：篠原涼子）
※原作は「LINEマンガ」で冒頭の部分を読むことができます。

光（ひかる）くん（２歳6か月）の保育を考えてみましょう

『光とともに…～自閉症児を抱えて』戸部けいこ著　参考

保育園の入園を希望して見学に来園されました。
ひかるくんがあなたの園に通うとしたら…
どのような支援が必要と考えられますか？

発表タイム

家族構成：　父親ー会社員、母親ー専業主婦

乳児期：抱っこを嫌がる。夜眠らない。友達に興味を示さない。

1歳半健診：目を合わせない。話しかけても返事をしないことから、

聴覚障害を疑われ、検査をしたが　聴覚の問題は無し。

2歳半現在：ベビーカーにこだわりがあり、ベビーカーから降ろすとパニックを起こす。

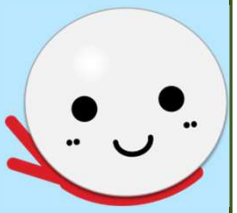
発語はパパ、ママ以外ほとんど無い。光るものや水にこだわりがある。光るものを追いかけて

高いところに登って降りられなくなったこともある。時計と電車に強い関心を示す。最初に決めたこと

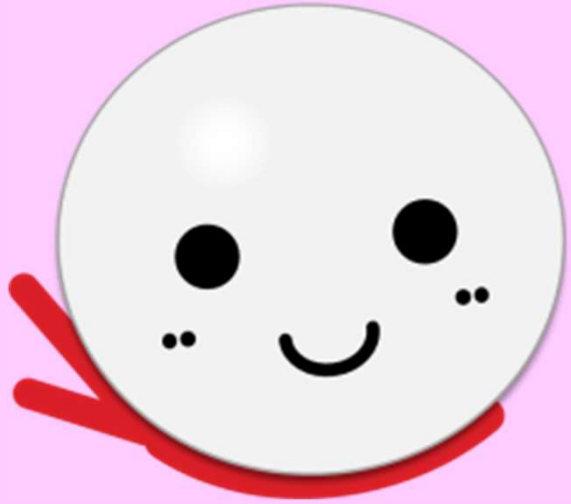
が変更になるとパニックになる。言われたことをおうむ返しに何度も繰り返す。

例：「ごめんなさいは？」と母親がいうと「ごめんなさいは？」を繰り返す。

葬儀の時、木魚と読経が始まるとパニックを起こし大声で叫びながら耳を抑えて暴れた。



発表をありがとうございました。



それでは…
光（ひかる）くんに対して、
園で考えられる
対応の例について
みてみましょう

光（ひかる）くんに対し、園で考えられる対応の例

＊ひかるくんのシール「電車」をつくり、靴箱や衣類入れにその電車シールを貼る。
＊靴箱は進級しても同じ場所に固定する。
＊「×」「○」のサインカードや、時間を描いたカードをつくり「3時はおやつ」等、可視化し、理解しやすい工夫をする。
＊ひかるくんが落ち着くコーナーをつくり、パニックの時に逃げ込めるようにする（居場所をつくる）。
＊保護者と話をする機会を小刻みに多く持つようにする。
※気になることがあった場合、単に「様子を見ましょう」と言わず、「1か月間程様子を見ましょう」等、見通し（期限）を決めて保護者からその間も家での様子を聴き取る等、保護者の心情に寄り添った支援をします。

付※日本の法律、公文書における様々な用語は、ICD(国際疾病分類)に基づいています。

現在、11回目の改訂であるICD-11が2019年5月に承認されて、日本語への翻訳が進められています。

この翻訳では、『注意欠陥多動性障害』は『注意欠如多動性障害』に変わりました。これは、「欠陥」という言葉が与える印象があまりよくないという背景があるようです。今後は、「注意欠如多動性障害」で統一されていく方向になります。